

令和 7 年度開南大学夏期中国語英語・台湾文化研修 報告書

総合管理学部総合管理学科 1 年

中野 天翔

大学生になった私はとにかく海外へ行ってみたくて、そのチャンスに身構えて日々を過ごしていた。そこへ舞い込んできた一通の Outlook。台湾文化研修。即親に相談し、希望した。実際に参加した結果、私の人生経験における最高に稀有な経験ができた。私の視野は間違いなく大きく広がっただろう。

このプログラムでは、華語(台湾華語。北京語と多少異なる)と英語を選べる。私は今回英語を希望した。今や世界の共通言語である英語を、日本語が通じない場所で学んでみたかったからだ。授業は90分×20コマで行われた。最後の 2 時間に成果発表会と銘打たれたプレゼンやダンスを披露する時間が設けられている。私のグループは台湾における日本文化の影響を発表した。結果は 8 組中 3 位だった。まさかそんなに評価されると思わなかったのがうれしい。



開南大学で会った様々な人たちとの出逢いは極めて新鮮だった。学年はバラエティに富んでおり、北は北海道、南は熊本まで、広範囲なエリアから人が集まるため、方言や地域による常識の違いを味わうことができた。同年代の日本中の仲間と出会い、一緒に 2 週間過ごすのは後にも先にもあまりないであろう経験なので、良かったと感じている。



おおむねの日程は、午前中に授業があつて午後に文化体験を行うといった形である。一日中自由に使える日や日帰り旅行の日もあった。そのなかで特に印象に残ったのは、夜市である。台湾の夜市は例えるなら毎日ある縁日で、とても活気があり歩いているだけで楽しい。たくさんの屋台が並んでおり、さつまいもボール、臭豆腐、焼きラム肉などの食べ物系はもちろん、射的、パチンコ、麻雀などの娯楽がある夜市もあった。

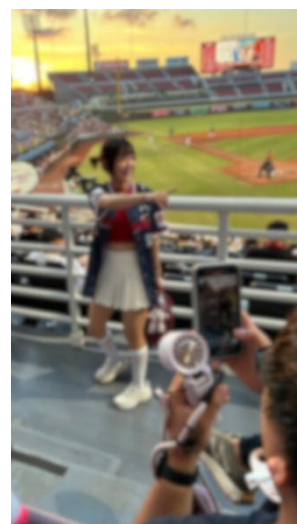


←士林夜市

右の写真は中壢夜市だ。私がさつまいもボールを持っている。地瓜球やQQ ボールとして売られていたこれが個人的に大のお気に入り、滞在中何度も食べた。なんといってもそとカリなもちの食感が最高だった。上からかける粉末の味の種類が何種類もあり、おすすめは酸味と甘みが程よい梅味だ。臭豆腐も挑戦してみたが、酸味が強すぎてあまり口に合わなかった。この厄介者を捨てる場所に困っていると、なんと屋台のお姉さんが捨ててくれ、台湾人の温かさを感じた。台湾に来たらぜひ、さつまいもボールを試してみしてほしい。

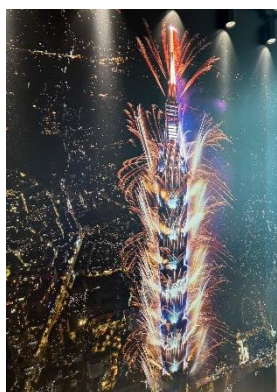


自由行動の日に、桃園に野球を見に行った。とはいっても目的はチアガールである。台湾のチアガールはとても可愛い。一部がタレント化しているほどだ。このプログラムで出会った最初の友達に誘われたのだ。その友人はそのチアガールと会話するために中国語を勉強したほど思い入れがあるらしい。周りの観客たちも試合より彼女たちに目が釘付けだった。そんなわけで胸を膨らませながら彼女たちを見ていると、なんと、その友人はチアガールにワンツーマンダンスに誘われた。一日一度しかない激レアイベントらしく、友人は非常に興奮していた。楽しい時間はあっという間に過ぎ、いつの間にかまた見に行く約束をしていた。右の画像は有名なチアガールの一人だ。彼女はファンサービスが最高だ。見みつけたファンの手を必ず振り返すし、とても人懐っこい。そりゃ人気だよ。気づけば私も虜になっていた。

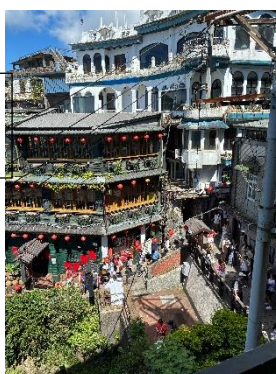


行く前は 2 週間やり切れるかという不安があったが、実際には 2 週間はあっという間だった。これからも台湾を訪れ、文化の違いに触れたい。

→
台北 101 の
花火



→
九分



→
九分にある階段「豎崎路」

